

第18回

季刊刑事弁護

新人賞

刑事弁護活動レポート募集のお知らせ

本賞では弁護活動の結果は問いません。新人として悩んだり苦しんだりしながら、時には周囲の助けも得て、熱意や工夫あふれる弁護活動を展開するさまは、他の弁護士や弁護士を志す者の参考となり、ベテランに初心を思い起こさせることとなります。私たちはそのようなレポートを求めています。

これまでの受賞作は、以下のような点が評価されました。①事件の全体像を正確に把握している。②弁護人の主張するケースセオリー（あるいはアナザーストーリー）が明確に立てられ、そのケースセオリーに説得力がある。③捜査・公判段階において、刑事訴訟法の知識を利用した有効な弁護活動がなされている。④捜査弁護・公判弁護を通じ、弁護人の「努力」の跡が見られ、「情熱」を感じることができる。⑤独創性や工夫の跡が見られる。⑥一定の成果が見られる。⑦弁護活動が感銘を与え、新人弁護士をしてよい弁護への動機づけとなるようなものである。

多くのご応募をお待ちいたしております。

「季刊刑事弁護」編集部

〔応募資格〕

2020年7月31日現在で弁護士登録から5年以内の方
（ただし、レポートで取り上げる事件は、登録から3年以内に受任したものであること）

〔応募方法〕

自薦の場合＝自分が担当した刑事・少年事件（起訴前・起訴後を問わず）から1つを選び、以下の要領でレポートにまとめて、氏名・修習期・連絡先を明記のうえ右記の送付先までお送りください。判決文等の参考資料がありましたら、それらも同封してください。

●構成

1. 事件の概要
2. 弁護のポイント等

●制限字数

8000字以内

メールで送付の場合はワードかテキスト形式で

他薦の場合＝候補者の氏名・連絡先・推薦理由と、推薦者の氏名・連絡先を、右記の送付先までお送りください（締切日にご注意ください）。本誌より候補者の方に、レポート執筆を依頼いたします。

〔締切〕

自薦の場合＝**2020年7月31日（金）** 消印有効

他薦の場合＝**2020年6月30日（火）** 消印有効

〔発表〕

本誌105号（2021年春号、2021年1月20日発行）誌上

〔賞〕

最優秀賞 1名 賞金10万円

優秀賞 2名 賞金5万円

特別賞 該当者がある場合 賞金3万円

受賞者のレポートは、本誌に掲載いたします。

〔選考〕

本誌編集委員等で構成する選考委員会で選考します。

〔レポート送付先・問合せ〕

〒160-0004 新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階

現代人文社「季刊刑事弁護新人賞」係

Tel:03-5379-0307 Fax:03-5379-5388

E-mail: shinjin-sho@genjin.jp

〔協賛〕株式会社TKC

「季刊刑事弁護新人賞」支援のお願い

本賞を維持・発展させていくためには、本賞の財政的基盤を確保することが喫緊の課題となっております。現在、ご支援を呼びかけております。詳しくは、小社ウェブサイトをご参照ください（<http://www.genjin.jp/news/n20274.html>）。